

令和4年度最適化活動の目標の設定等

都道府県名：新潟県
農業委員会名：阿賀町農業委員会

I 農業委員会の状況(令和4年4月1日現在)

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和 2 年 5 月 15 日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	14	14
認定農業者	—	9
認定農業者に準ずる者	—	
女性	—	1
40代以下	—	
中立委員	—	2

任期満了年月日 令和 5 年 5 月 14 日

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	11	10	4

2 農家・農地等の概要

経営体数		農業者数(人)		経営体数(経営体)	
総農家数	738	基幹的農業従事者数	453	認定農業者	87
農業経営体数	353	女性	134	基本構想水準到達者	9
※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入		40代以下	28	認定新規就農者	8
		※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入		農業参入法人	0
				集落営農経営	0
				特定農業団体	0
				集落営農組織	0

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	796	233	233			1,030

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

Ⅱ 最適化活動の目標

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)		これまでの集積面積(B)		集積率(B)／(A)	
	1,030	ha	403	ha	39.1	%
課題	農業従事者の減少、農家の高齢化や地形条件の悪さなどからも、農地の集積は容易ではないが、農地の有効利用の観点からも担い手を中心に集積を図っていく必要がある。					

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

② 目標

農地の集積の目標年度	令和 5 年度	集積率	80 %
今年度の新規集積面積	211 ha	農地面積(C)	1,030 ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	614 ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)／(C)	59.6 %

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

(2) 遊休農地の解消

① 現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	9.2 ha	9.2 ha	0.0 ha
課題	高齢化、有害鳥獣等による荒廃農地の解消は容易ではない。優良農地に関して、担い手への集積は進んでいるが、条件の悪い圃場では収益性の確保など解消に向けた課題は多い。そのような中、町計画「人・農地プラン」及び農地中間管理事業、日本型直接支払制度の取組みを共に進め、遊休農地の解消に努めなければならない。		

② 目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	9.2 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積	1.8 ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	0.0 ha
黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	2.9 ha
---------------------------	--------

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	令和元年度新規参入者		令和2年度新規参入者		令和3年度新規参入者	
	1	経営体	2	経営体	1	経営体
	7.8	ha	4.9	ha	0.6	ha
課題	農業者の高齢化、農業後継者の不足により、地域の農業を担う者が減少しており、担い手の育成・確保、新規参入者の育成を図る必要がある。					

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体の経営面積の合計の農地面積を記入

②目標

権利移動面積	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均	
	141	ha	137	ha	238	ha	172	ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積					17.2	ha		

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。))及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	8	日/月	最適化活動を行う農業委員の人数	14	人
			農地利用最適化推進委員の人数	10	人

(2)活動強化月間の設定目標

活動強化月間の設定回数		3	回
取組時期	取組項目	強化月間の内容	
7～8月	②遊休農地の解消	遊休農地の草刈りパトロールを実施して指導・推進に努める	
10月～12月	②遊休農地の解消	利用意向調査実施月間として、配布、回収に努める	
12月	③新規参入の促進	利用意向調査に合わせて、新規就農者への貸付意向を確認する	

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加目標

新規参入相談会への参加回数		1	回
開催時期	12月	相談会名	新規就農相談会
参加者数	2人	開催場所	新潟市内
相談会の内容	県が主催する新規就農相談会に推進委員等が2名参加する		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※ 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)